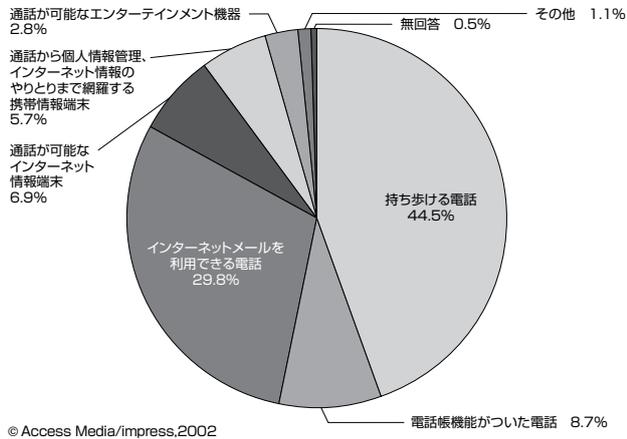
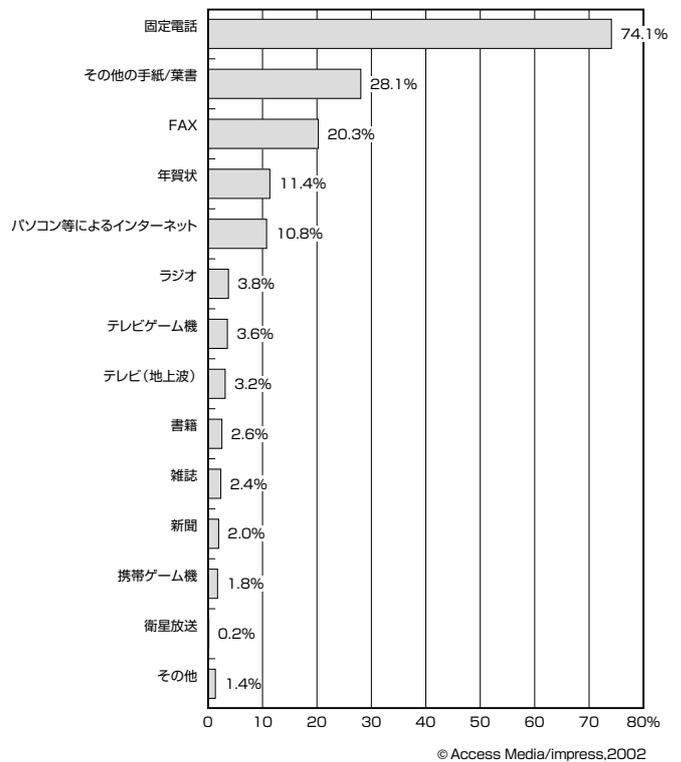


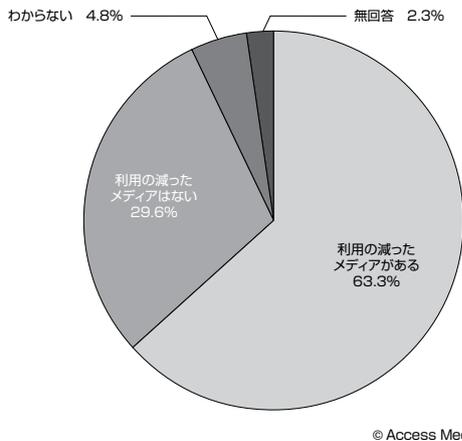
資料 1-3-24 携帯電話/PHSの位置付け N=793



資料 1-3-26 携帯電話/PHSでインターネットを使うことで利用の減ったメディア N=502



資料 1-3-25 携帯電話/PHSを使うことで利用の減ったメディアの有無 N=793



解説

ように位置付けているのかを聞いたのが資料1-3-24である。

携帯電話の位置付けは、「持ち歩ける電話」(44.5%)、「電話帳機能がついた電話」(8.7%)を併せた従来の電話機としての位置付けが過半数で、「インターネットメールを利用できる電話」(29.8%)を含むインターネット機器としての位置付けを上回っている(資料1-3-27)。

年代別でみると、先に「用途」でも述べているが、10代は「電子メール」利用が「通話機能」を上回っていたのと同様、「インターネットメールを利用できる電話」

としての位置付けが「持ち歩ける電話」を上回っている。一方、20代以上は、「持ち歩ける電話」としての位置付けが高い。

昨年から携帯電話/PHSでインターネットを使うことで利用の減ったメディアの有無とその内容を聞いているが、資料1-3-25と1-3-26がその結果である。

昨年と比較すると、「利用の減ったメディアがある」(63.3%)が1割増と、年代別では10代と60代を除いては、他メディアの利用に影響を及ぼしている。特に20代では、約7割が「利用の減ったメデ

ィアがある」と回答している。

利用の減ったメディアとしては、「固定電話」(74.1% 昨年66.8%)の利用に最も影響がでている。

また、「電子メール」利用の影響か、10代、20代では「その他の手紙、葉書」、「年賀状」などの減少が相対的に高くなっている。

(丸山由紀 アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp